

現状認識

我が国の産業の動向

- ・人口減少やDX・GXの進展により、**産業構造が急速に変革**
- ・我が国の一人あたりGDPは、大きく後退し、**賃金の伸びも低水準**で推移
- ・将来、**雇用のミスマッチやスキルギャップ**が発生（エンジニアの需要増、事務・販売従事者の需要減）

高齢化の推移と将来推計

区分	2021年	2065年	増減
15～64歳	7,450万人	4,529万人	▲39%
総人口	12,550万人	8,808万人	▲30%

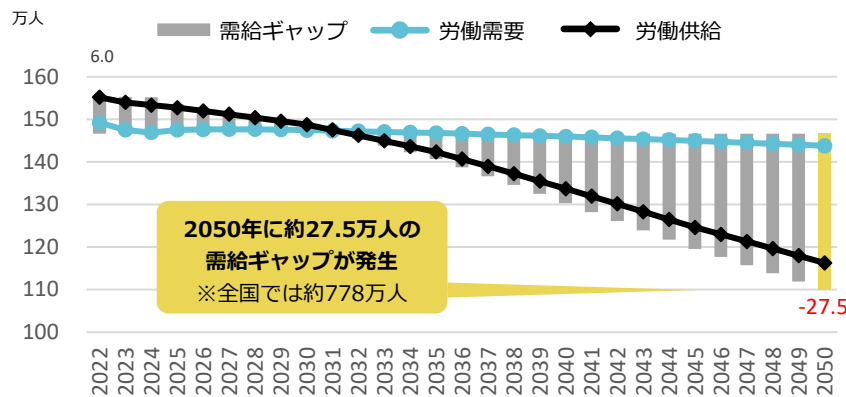
(2023年版高齢社会白書)

労働需要の推計

区分	2020年	2050年	増減	
製造業	エンジニア (IT技術者、製品開発者等)	102万人	144万人	41%
	事務・販売従事者	236万人	144万人	▲39%
卸売・小売業	エンジニア(同上)	42万人	48万人	14%
	事務・販売従事者	753万人	524万人	▲30%

(経済産業省：未来人材ビジョン)

本県における労働需給シミュレーション



参考：本県における労働需要の見通し/2023.9中間とりまとめ
(国調査等を参考に本県が独自に調査)

今後の取組の方向性

本県産業の持続的発展には、あらゆる施策を総動員し、**戦略的・体系的に政策展開**を図る必要

特に、人手不足分野での人材確保に加え、人的資本の観点から、リスキリングにより、企業において求められるスキルの習得を支援し、生産性向上や賃金水準の向上の実現を図ることが喫緊の課題

リスキリング推進上の課題

多くの企業において、**総論としてリスキリングの意義を理解しつつ、例えば、人材の流出に懸念が示されるなど、その意義が十分に理解されていない。**

また、多くの企業が、リスキリングの推進に関心を寄せつつも、**成長産業・分野で求められるスキルがイメージできておらず、何をリスキリングしてよいか分からない。**



リスキリング推進による将来像

企業・企業人が、自らの成長戦略・キャリアデザインのもと、意欲的にリスキリングに取り組むことにより、**新たな産業・分野で必要となる知識やスキルの習得が進み、成長産業や成長分野への円滑な労働移動と企業及び社会全体の生産性の向上が図られている。**





リスキリング推進施策 ① 意識啓発・機運醸成

01 推進宣言制度の創設・先進企業の顕彰

リスキリング推進宣言制度を創設し先進的な企業を顕彰
リスキリングのマニュアルを作成し、企業の取組を後押し

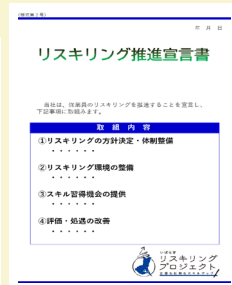
事業KPI〔3年間〕

リスキリング推進宣言企業数 **150社** / うち顕彰企業数 **30社**



企業人約50,000人※のリスキリング環境を構築

※県内大企業の50社、中規模の企業の100社が
リスキリング環境を構築することを想定

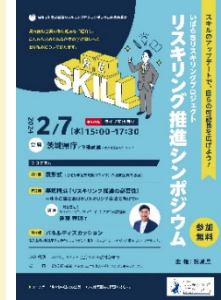


02 ワークショップ・シンポジウムの開催

ワークショップ
(経営者向け)

ワークショップ
(人事担当者向け)

シンポジウム
(2024.2予定)



03 ポータルサイトの開設・運営

リスキリングの意義・必要性、先進事例、推進施策、
イベント等の情報発信



いばらきリスキリングプロジェクト
<https://ibaraki-rs.jp/>



リスキリング推進施策 ② スキル習得支援

01 スキルの見える化

生産性向上と競争力強化の鍵となるデジタルスキル、
業種を問わず求められるポータブルスキルの習得が必要



02 県認定講座の設置

デジタルに関する「理論」の習得と、企業課題の課題をケーススタディとする
「実践」を組み合わせた、**県認定リスキリング講座**の受講を推進し、
デジタルリテラシー人材を育成

実践講座

受講対象者	Di-Liteレベルの知識を有する県内在住の企業人
講座内容	テーマ：①生産管理（製造業）、②顧客管理（業種横断） 内容： ◆先進事例企業見学 ◆受講者の所属する企業の見学 ◆グループ単位でのデジタル化計画の検討 ◆検討内容の発表
日程	7日間（平日、土日）
受講料	費用の一部を受講料として徴取することにより、受講者の主体的・意欲的な取り組みを喚起

修了者を県が認定する制度を導入
(オープンバッジの活用等)
オープンバッジのイメージ



03 AIマッチングシステムの開発・運用

職種や職歴・年齢・保有資格、アンケート等から各人に適した
リスキリング講座（デジタルスキル・ポータブルスキル）をマッチング



ご協力をお願い

企業版ふるさと納税

得られる成果等

本県HP及びリスキリングポータルサイト等でのご紹介
当該事業に参画する企業、経済団体、教育機関との接点獲得

ご連絡先

茨城県産業戦略部
産業人材育成課 人材育成グループ 皆川・大野



029-301-3653



rousei4@pref.ibaraki.lg.jp

いばらきリスキリングプロジェクト
<https://ibaraki-rs.jp/>



《参考》茨城県リスクリング推進協議会の体制・経過

● 体制



協議会構成員

産業界	茨城県経営者協会	会長	笹島	律夫
	茨城県中小企業団体中央会	会長	阿部	真也
	茨城県商工会議所連合会	会長	内藤	学
	茨城県商工会連合会	会長	小川	一成
	日本労働組合総連合会茨城県連合会	会長	内山	裕
教育機関	茨城大学	学長	太田	寛行
	筑波大学	学長	永田	恭介
	茨城キリスト教大学	学長	上野	尚美
	グロービス経営大学院	学長	堀	義人
	茨城県専修学校各種学校連合会	会長	八文字典昭	
行政	茨城県（会長）	知事	大井川	和彦
	※オブザーバー：関東経済産業局、茨城労働局			

● 経過

2023年 1月	第1回協議会	検討事項、検討体制、スケジュール
2月	第1回ワーキング会議	県内企業のデジタル化の現状・課題
4月	第1回幹事会	施策の方向性
5月	第2回ワーキング会議	デジタルスキルの内容
7月	第3回ワーキング会議	デジタルリテラシーの習得方法 ワーキング会議報告書（案）
8月	第2回幹事会	政策パッケージ（たたき台）
9月	第4回ワーキング会議 第3回幹事会	ワーキング会議報告書 政策パッケージ（案）
10月	第2回協議会	